連携講座　③－10【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員30名

◆古代の地方豪族と王権

講座番号　③－10

時　間：午後5時～6時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円

主　題　古代の地方豪族の実態については、史料的な制約もあってまだ解明されていない部分が少なくありません。さらに古代の国政は律令貴族の前身である中央豪族だけが独占し、地方豪族は中央豪族の支配下にあってそれに従属する立場にすぎず、国政への関与も補助的・間接的な形にとどまったとする見方がこれまで通説とされてきたため、地方豪族に対する理解が自ずと一面的なものになり、彼等の本来的なあり方がともすれば見過ごされてきました。今回の講座ではこうした通説を払拭し、地方豪族の真の姿を見極めたいと考えています。そして彼等が中央豪族と基本的に対等な立場で国政に関わった事実を両貫（りょうがん）制という新たな視点から検討してみるつもりです。

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/19（火）	吉備地方の諸豪族と王権〔Ⅰ〕	加藤　謙吉
第2回	5/26（火）	吉備地方の諸豪族と王権〔Ⅱ〕	
第3回	6/ 2（火）	尾張氏・尾張国造と尾張地域の豪族〔Ⅰ〕	
第4回	6/ 9（火）	尾張氏・尾張国造と尾張地域の豪族〔Ⅱ〕	
第5回	6/16（火）	筑紫君と火君〈磐井の乱の原因をめぐって〉〔Ⅰ〕	
第6回	6/23（火）	筑紫君と火君〈磐井の乱の原因をめぐって〉〔Ⅱ〕	
第7回	6/30（火）	中央豪族阿倍氏の出身地〔Ⅰ〕	
第8回	7/ 7（火）	中央豪族阿倍氏の出身地〔Ⅱ〕	
第9回	7/14（火）	地方豪族の中央出仕形態と両貫制〔Ⅰ〕	
第10回	7/21（火）	地方豪族の中央出仕形態と両貫制〔Ⅱ〕	

講師紹介

加藤　謙吉（かとう　けんきち）

早稲田大学オープンカレッジ講師。博士（文学）。1948年三重県生まれ。1976年早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。早稲田大学・成城大学・中央大学・慶應義塾大学・駒澤大学・東京女子大学などの兼任講師を経て、現在に至る。著書に『蘇我氏と大和王権』・『大和政権と古代氏族』・『大和政権とフミヒト制』（以上、吉川弘文館）、『秦氏とその民』（白水社）、『ワニ氏の研究』・『日本古代の豪族と渡来人』（以上、雄山閣）など。

連携講座　③－11【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員30名

◆英語で“日本”を伝えよう

講座番号　③－11

時　間：午後5時～6時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：10回
受講料：7,000円

主　題　訪日外国人数は年々増加しており、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、中央区を訪れる外国人観光客は今後も増え続けることが予想されています。外国人にとってこの町の魅力は多種多様にありますが、知らない土地を訪れている彼らの大きな助けや喜びとなるのは、現地の人々との心温まるコミュニケーションです。

そこで、この講座を通じて、観光名所までの道案内や、中央区内各エリアの歴史文化、日本人のくらし方など、英語で外国人をおもてなしする際に役立つ心構えとフレーズを習得しましょう。

講義に際しては、中央区だけではなく日本のどこへ行っても学んだことが活用できるように、幅広い内容のテキストを活用します。また、外国人の話す自然なスピードの英語に対応できるよう、音声トレーニングやアウトプットレッスンを重視します。積極的に参加しましょう！

※初中級レベル。ゆっくりであれば会話の要点が理解でき、聞き返せる語彙力を備えている方。具体的な目安は以下の通り。
英検：準2級～、TOEIC：500点台～

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/21（木）	【主な講義内容】 ・外国人に対応するための英語力UPを目指す上で知っておきたいこと ・丁寧な英語表現について ・日本のことや文化を説明してみよう ・外国人にとって聞きやすい英語を話そう ・自然なスピードの英語を聞き取ろう ・気配りを表す表現について、お別れのあいさつなど ・話しかけるときに便利なフレーズについて ・リスニングトレーニング～音と音のつながりに注意しよう～	大島　さくら子
第2回	5/28（木）		
第3回	6/ 4（木）		
第4回	6/11（木）		
第5回	6/18（木）		
第6回	6/25（木）		
第7回	7/ 2（木）		
第8回	7/ 9（木）		
第9回	7/16（木）		
第10回	7/30（木）		

講師紹介

大島　さくら子（おおしま　さくらこ）

（株）オフィス・ビー・アイ代表取締役。慶應義塾大学、Temple大学Japan卒業、Oxford大学留学、（株）サンリオ・人事部勤務を経て英語教師となり、現在、早稲田大学、東京商工会議所、港区国際交流協会など、多数の行政・法人機関にて英語指導を行っている。著書に『絶対に使える英文eメール作成術』（角川SSC新書）、『実践ビジネス英会話』（ベレ出版）、『ビジネス英語4週間集中プログラム』（ダイヤモンド社）ほか多数。英検1級、TOEIC990点取得。

連携講座　③－12【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員30名

◆地図でたどる日本の地名

主　題　柳田國男によれば、地名とは「要するに２人以上の人の間に共同に使用せらるる符号」である。地形の特徴を捉えて自然発生的にできたものから統治の必要上おカミが定めた地名、市町村名から小字や通称地名まで、生まれた時代も背景もさまざまな地名が存在する。この講座では奥深い地名の世界を、現地の地図を見ながら立体的に考察していく。

回数	日程	講義内容
第１回	5/26（火）	地名とは何か－その命名原理を探る
第２回	6/ 2（火）	地名の命名－仕事・宗教に由来する地名
第３回	6/16（火）	地名と駅名の関係－必ずしも地名がつかない理由
第４回	6/23（火）	市町村名の誕生－明治から平成の大合併まで
第５回	7/ 7（火）	近現代日本の「地名破壊史」

講座番号　③－12

時　間：午後５時～６時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：５回
受講料：3,500円

講　師　紹　介

今尾　恵介（いまお　けいすけ）

地図研究家、一般財団法人日本地図センター客員研究員。著書に『地名崩壊』（角川新書）、『地名の社会学』（角川学芸出版社）、『地図で読む戦争の時代』（白水社）、『東京凸凹地形散歩』（平凡社）、『地名の楽しみ』（ちくまプリマー新書）など多数。『地図マニア空想の旅』（集英社）で斎藤茂太賞、『地図と鉄道』（洋泉社）で交通図書賞を受賞。

連携講座　③－13【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員30名

◆ジャズ・ジャイアンツから見るジャズ史

主　題　現代我々が耳にする"ジャズ"には様々なスタイルがあります。そして、なんと"ジャズ"にはそのミュージシャンの数だけスタイルがある、とも言われています。

では、一体"ジャズ"とはどんな音楽なのでしょうか？

ジャズ誕生からおよそ120年。その誕生と変貌を"ジャズ"を造ったアーティスト達、すなわち"ジャズ･ジャイアンツ"にスポットを当て、彼らの音楽とともにジャズの歴史とその背景を紐解きます。

回数	日程	講義内容
第１回	5/28（木）	ルイ・アームストロング　/ジャズの誕生とその背景
第２回	6/25（木）	ベニー・グッドマン　/スイング・ジャズの隆盛
第３回	7/ 2（木）	デューク・エリントン　/ダンス・ミュージックから芸術音楽へ
第４回	7/ 9（木）	チャーリー・パーカー　/ビバップの誕生
第５回	7/16（木）	マイルス・デイビス　/モダン・ジャズの進化

講座番号　③－13

時　間：午後５時～６時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：５回
受講料：3,500円

講　師　紹　介

金子　健（かねこ　けん）

ベーシスト/ 国立音楽大学講師。国立音楽大学卒業後演奏活動をはじめ、山本剛（p）をはじめ、多くのミュージシャンと国内外で活動。参加したCDも多数。同時に高校の音楽講師も６年間務める。リーダートリオ“Ken's Trio”(WNR)としてCDを３枚リリース。その後、山下洋輔 (p) Special Big Band、寺井尚子 (vln) カルテット等のツアーやCDにも参加。2010年には、ベニー・グリーン (p)、井上智 (g) とのリーダーユニット“KBS TRIO”として『What Am I Here For』を発売し、スイングジャーナル誌「ゴールドディスク」を受賞。

連携講座　③－14【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員30名

◆初心者のための短歌教室

主　題　実作を中心に、現代短歌の解説をまじえながら講義を進めていきます。第１回目は講義（悲しみの詩型「短歌」）。第２回目以降は実作演習です。講師のメールアドレス（ファックスでも葉書でも可）に毎回、短歌を送ってもらいます。そして、集まった作品をテキストとして配付し、添削指導をおこないます。また、お互いの短歌を鑑賞、批評し合う「歌会（作品合評会）」も開催します。とにかく楽しく愉快に！　をモットーに、知らない間に実力をつけてもらいます。

講座番号　③－14

時　間：午後５時～６時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：５回
受講料：3,500円

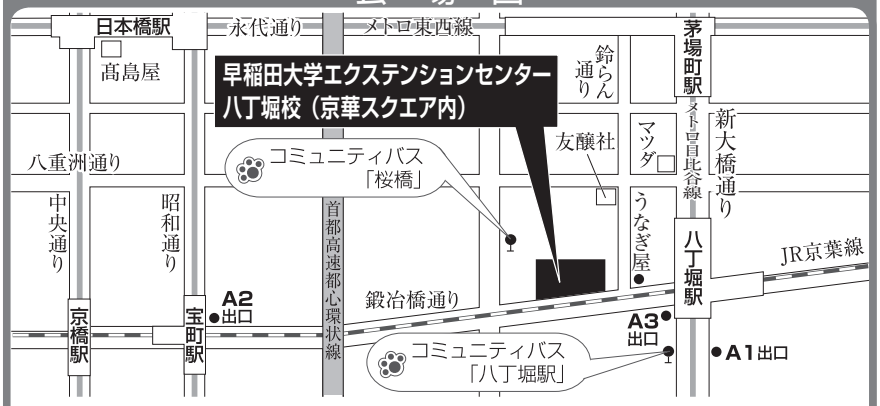
回数	日程	講義内容	講師名
第１回	6/ 4（木）	講義（悲しみの詩型「短歌」）	福島　泰樹
第２回	6/11（木）	実作演習	
第３回	6/25（木）	実作演習	
第４回	7/ 2（木）	実作演習	
第５回	7/16（木）	実作演習	

講師紹介

福島　泰樹（ふくしま　やすき）

歌人。早稲田大学第一文学部卒業。『バリケード･一九六六年二月』、『亡友』など歌集32冊の他、著作は『福島泰樹全歌集』（河出書房新社）、『寺山修司　死と生の履歴書』（彩流社）、『宮沢賢治　東京宇宙』（NHK出版）、『誰も語らなかった中原中也』（PHP新書）など多数。肉声の回復を求めて「短歌絶叫コンサート」を創出、1600ステージをこなす。

会場図



【交通】■ 地下鉄 日比谷線、JR京葉線「八丁堀駅」A3出口より　徒歩1分
■ 地下鉄 浅草線「宝町駅」A2出口より　徒歩7分

中央区八丁堀3－17－9 京華スクエア3階
☎5117－2073

連携講座　③－15【早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校】　定員30名

◆宇宙の扉を開こう！～見て　考えて　そして～

主　題　「宇宙」の語から、皆さんが想う宇宙は各人各様に異なると思いますが、その想いをもう少し拡げて見ませんか？

この講座では、最初に、「宇宙感」とのタイトルで、「時間と空間」・「重力」・「宇宙の果ての向こう」を皆さんに掴んでもらいます。そしてさまざまな宇宙活動を、人が直接現場で関わる有人活動とそうでない無人活動の軸と、対象となる場所が宇宙を規定する高度100kmのカーマンラインの上か下かの軸の２軸を使って四分し、各分野に特徴的なトピックを紹介します。

その後、人類初のガガーリンの宇宙飛行から月探査「アポロ計画」を経て、最近話題の米国が推進する月探査「アルテミス」計画までの流れに沿って「有人宇宙活動」を紹介します。加えて、高い人気を得る「宇宙飛行士」の選抜・訓練を紹介します。

最後に、「なぜ宇宙か」との奥の深い問題に触れ、皆さんが将来接するかも知れない“未来の宇宙活動”を披露します。現時点ではそれこそ“アイデア”のレベルではありますが、その知見が皆さん自身の「宇宙」を拡げることに繋がればとの思いでこの講座をまとめます。

講座番号　③－15

時　間：午後５時～６時30分
場　所：早稲田大学
　　エクステンションセンター八丁堀校
回　数：５回
受講料：3,500円

回数	日程	講義内容	講師名
第１回	6/10（水）	「宇宙感を」：基本となる物理量「時間と空間」と「重力」等に触れ、「宇宙感」を掴む。	柳川　孝二
第２回	6/17（水）	「様々な宇宙活動」：地球、太陽、月を中心とする様々な宇宙活動を四分し、概観する。	
第３回	6/24（水）	「宇宙に行こう」：「宇宙に行きたい」と思う欲望と、どうやって実現してきたか、追う。	
第４回	7/　1（水）	「日本の活動」：日本の有人宇宙活動を振り返り、未来を楽観的に予測する。	
第５回	7/　8（水）	「これからの宇宙活動」：「なぜ宇宙？」に触れ、皆さん自身の「宇宙」に繋がるか考察します。	

講師紹介

柳川　孝二（やながわ　こうじ）

2017年JAXA社友、Koshoya2020代表。1951年東京生れ。1977年早稲田大学物理学修士課程修了、宇宙開発事業団（現JAXA）入社。ロケットエンジンLE-5開発、国際宇宙ステーションの利用、宇宙実験、NASAジョンソン宇宙センター駐在、有人宇宙技術開発、宇宙飛行士の訓練や搭乗調整を担当。2008年宇宙飛行士選抜を担当。その後、情報システムと広報を兼務。

著書に『なぜ、人は宇宙をめざすのか』（共著、誠文堂新光社）、『宇宙飛行士という仕事』（中央公論新社）、『宇宙飛行士に聞いてみた！』（監修、日本文芸社）、『Space Shuttle 写真集』（監修、玄光社）など